

日本脳神経外科学会 第76回学術総会对談特集

脳科学の近未来

これからの脳神経外科が果たす役割

10月12日(木)~14日(土)の3日間わたり、名古屋国際会議場において「日本脳神経外科学会 第76回学術総会」が開催されます。これに先立ち、日本脳神経外科学会理事長の嘉山孝正氏と第76回学術総会会長の若林俊彦氏に、脳科学の未来を展望し脳神経外科が果たす役割について語っていただきました。

嘉山孝正氏 × 若林俊彦氏



第76回日本脳神経外科学会学術総会会長
名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科 教授
若林 俊彦 先生



一般社団法人 日本脳神経外科学会 理事長
国立がん研究センター 名誉総長
山形大学医学部 先進がん医学講座 特任教授
嘉山 孝正 先生

広がる脳神経外科の診療領域

嘉山 「脳神経外科は、その名前から脳の病気に特化した診療科と思われがちですが、実は脳だけでなく脊髄、末梢神経および付属器官である血管、骨筋肉に關係する全ての病気が治療の対象となります。従って事故で負った頭部外傷や脳卒中、脳腫瘍をはじめ椎間板ヘルニアや脊髄脊髄損傷など一般的な知られた病気のほか、てんかん、三叉神経痛、顔面けいれん、パーキンソン病といった神経の機能的な障害による病気や、炎症性の脳炎、髄膜炎、先天性の奇形さらには近年増加の一途をたどっている認知症まで診療の対象疾患です。脳神経外科の診療領域がこれほど幅広いことをご存知の方は少ないでしょうね。

若林 診療領域の幅広さもそうですが、高度な外科手術はもちろん、放射線療法や化学療法など非外科的治療にも携わり、治療を終えた患者さんのリハビリテーションまで一貫して行うことができる診療科というのは稀ではないでしょうか。

嘉山 同じ脳神経外科でも欧米は業務がシステム化され手術に専念しています。その点、日本は徹底した現場主義ですからね。頭痛がしてても手がびびれても、めまいがしても、全て脳神経外科の対象疾患に關係する症状ですから、救急対応でトリアージに關わることも多く、患者さんに最善の治療を提供するために、血管撮影などの診断技術をはじめ、外科手術だけでなく幅広い治療が必要になります。脳の疾患の兆候や早期発見のための「脳ドック」は世界で日本だけの医療業務です。治療後のリハビリテーションも脳神経外科の知見を生かした神経リハビリが効果的です。

現場主義とは患者さんに必要なことは何でもするということなんです。

若林 嘉山先生のおっしゃった現場主義に基づき、これほど広範囲な医療ができるからこそ、「基本領域診療科」として認められているわけです。現在、100を超える学会の中で基本領域診療科に認定されているのは19学会のみですが、新たに開始予定の「新専門医制度」ではこの19の基本領域診療科に限り専門医資格が認められることになっています。

嘉山 脳神経外科学会では1966年(昭和41年)に学会独自の専門医資格を導入していますが、これは麻酔学会に次いで2番目であり、国際的にもドイツに先行し、米国に次ぐ2番目となります。当学会の専門医資格試験は、初期から経験症例、筆記試験、実技を含む口頭試験を採用しており、現代でも通用する理想的な試験内容といえます。毎年カリキュラムの改定を繰り返しながら、厳しい試験を通過した者だけが脳神経外科の専門医といえるのです。審査の厳格さは国内最高だと自負しています。早くから人材の育成に注力してきたことが、世界をリードする日本の脳神経外科医療を支えているといえるでしょう。

進化する脳神経外科医療

若林 人材とともに日本の脳神経外科医療を支えているのが、生物学や工学の飛躍的な進歩です。

嘉山 私は1975年(昭和50年)に大学を卒業しましたが、その1、2年後に登場したのがCTです。触診も聴診もできない脳の異常を直接診ることができる画期的な医療機器でした。以来、超音波機器、MRI、PETなど次々と先進的な画像診断機器が登場し、脳脊髄などの形態変化や生理学的状態、神経機能の状態まで可視化できるようになりました。

治療についても1970年代に顕微鏡手術が登場してから、脳の中の手術は顕微鏡下が主流となり、術中モニターなど付随する機器の進歩も伴って手術の安全性と有効性は飛躍的に向上しました。また、多数のガンマ線ビームを1点の病変に集中して照射できる定位放射線治療装置による放射線治療、神経内視鏡手術、血管内治療など、開頭しない治療ができる、患者さんに負担の少ない低侵襲手術も浸透しています。

近年は生きたまま体内の様子を分子レベルで観察できる分子イメージング技術や、手術中に患者さんのCTやMRI画像を映し出し、クルマのナビゲーションシステムのように見通しの悪い部分や方向を間違えそうになったときに正しくナビゲートしてくれる「ナビゲーション」技術など、超高精度な可視化技術の飛躍的な進化は目を見張るものがあり、かつて治療不可能とされていた脳深部の治療も今では治療可能例が少なくありません。

若林 私の専門としている遺伝子再生医療分野についていえば、脳脊髄の神経細胞は再生能力、増殖能力が事実上ないとされており、一度死滅した神経細胞は再生しないというのが常識でした。このことが

未来に向けて「i知の創出」を

嘉山 この半世紀を振り返るだけでも隔世の感がありますが、この進歩はさらに加速しています。今回の学術総会では脳神経外科の近未来を展望するものになります。

若林 今回の学術総会ではメインテーマを「i知の創出」とし、近年、特に発展の著しい5つの「i」で始まる領域を挙げてお話しします。

- Intelligent (知性が結集する脳神経外科医療)
- Inspirational (創造想像する脳神経外科医療)
- Innovative (技術革新を促す脳神経外科医療)
- Integrational (統合化する脳神経外科医療)

を抽出しました。そして、領域ごとに最新鋭の研究者から提供される最新情報により、現在どのような脳科学が進化しているのか会員と共有するのです。

嘉山 愛知に「i知」を結集し、未来を展望するわけですね。私は特に「インテグレート(統合)」に着目しました。知を統合する、ということ、脳科学や医学に死生観や宗教観といった心の領域まで含めた統合を意味しないでしょうか。それは私たちが直面している長寿社会の医療に欠かせない視点です。非常に深いと思います。

若林 嘉山先生が理事長になられてから、スタンダードの明確化とガイドラインの策定に着手され、脳神経外科学会の基盤をしっかりと築いてくださいました。これにより、我々が未来に向けて何をすべきか展望できるようになったのではないのでしょうか。テクノロジーの進展により脳神経外科医療が進化する一方で、脳神経外科医が関わる新しい疾患は増加の一途をたどっています。今こそ、i知の創出を目指して多くの基礎・臨床研究をさらに加速していかねばなりません。今回開催される第76回学術総会が、次の一歩を踏み出す脳神経外科学会の頼もしい糧となることを願っております。

<p>Life Life Life With Community 医療法人 仁医会</p> <p>あいちりハビリテーション病院 なかざわ記念クリニック</p> <p>理事長 中澤 信 愛知県西尾市江原町西柄1-1 TEL:0563(52)9001</p>	<p>医療法人 恵徳会</p> <p>いしい外科三好クリニック</p> <p>愛知県みよし市三好町中島30-1 TEL:0561(33)3911</p>	<p>医療法人 知昌舎</p> <p>岩倉病院</p> <p>愛知県岩倉市川井町北海戸1 TEL:0587(37)8155</p>	<p>しまだ中央クリニック</p> <p>名古屋市中区天白区保町1708-2 TEL:052(809)2561</p>	<p>医療法人 円会</p> <p>瀬口脳神経外科病院</p> <p>長野県飯田市上郷黒田218-2 TEL:0265(24)6655</p>	<p>田島クリニック</p> <p>愛知県春日井市石尾台5-8-8 TEL:0568(95)0233</p>
<p>医療法人 豊隆会</p> <p>ちくさセントラルクリニック</p> <p>名古屋市中区千種区今池4-401 玉置ビル2階 TEL:052(733)7276</p>	<p>脳神経外科 頭痛の診療 1.5テスラ MRI設置</p> <p>おおのクリニック</p> <p>院長 大野 貴也 愛知県春日井市篠木町6-4-1 TEL:0568(86)2500</p>	<p>脳ドック・人間ドック・各種健診 サイバーナイフ導入</p> <p>医療法人 宝美会</p> <p>総合青山病院</p> <p>院長 小森 義之 愛知県豊川市小坂井町道地100-1 TEL:0533(78)5313</p>	<p>地域No.1の救急・急性期病院を目指す</p> <p>社会医療法人 宏潤会</p> <p>大同病院</p> <p>理事長 吉川 公章 院長 小谷 勝祥 名古屋市中区白水町9 TEL:052(611)6261(代)</p>	<p>成田記念陽子線センター 平成30年4月開設</p> <p>社会医療法人 明陽会</p> <p>成田記念病院</p> <p>院長 成田 真 愛知県豊橋市羽根井本町134 TEL:0532(31)2167</p>	<p>人間ドック・脳ドック・特定検診</p> <p>地域の医療をモットーに あなたのかかりつけてありたい</p> <p>医療法人 ディスニック</p> <p>浅井外科</p> <p>院長 浅井 俊人 診療科目:脳神経外科・整形外科・内科・外科 消化器外科・リハビリテーション科 愛知県多摩郡阿久比町白沢天神前33-2 TEL:0569(48)8787 URL:http://asaigeka.server-shared.com/</p>

脳ドック・健診

もっと地域に健康と安心を

医療法人 仁医会

さくら総合病院

理事長 小林 勝正
院長 小林 豊
名誉院長 吉田 純

愛知県丹羽郡大口町新宮1-129
TEL:0587(95)6711
URL:http://www.iinkai.or.jp/

脳ドック対応

真に患者のための医療をめざす

医療法人 借行会

名古屋共立病院

理事長 川原 弘久
院長 堀 浩

名古屋市中川区法華一丁目172番地
TEL:052(362)5151
URL:http://www.kaikou.or.jp/kyouritsu/

脳ドック・健康診断・人間ドック
婦人科検診・各種がん検診

医療法人 松柏会

名古屋ビルセントラルクリニック

名古屋市中区名駅三丁目28番12号 名古屋ビルディング9F
TEL:052(587)0311

医療法人 名翔会

名古屋セントラルクリニック

名古屋市中区千種区通七丁目16番地1
TEL:052(819)1850

医療法人名翔会・医療法人 松柏会
セントラルクリニックグループ

法人本部 名古屋市中区城下町3丁目14番地
TEL:052-821-0090 FAX:052-824-0655
https://www.central-cl.or.jp/

遺言・成年後見・相続

東名経営税理士法人
東名行政書士法人

代表社員 吉川 寿一
名古屋市中区錦三丁目23-31 栄町ビル4F
TEL 052-955-1416/052-955-1417

信頼と実績

株式会社 ハウシェル不動産

代表取締役 太田 邦広
名古屋市中区天白区二丁目3408番地 ハウシェルビル
TEL 052-800-0070

高齢化社会 『予防医療と相続』のつぼ

日時 10月17日(火) 14:00~
(開場13:30) 2時間程度(予定)

会場 名古屋電気文化会館ホール
(東山線・錦舞線「伏見」駅4番出口より徒歩2分)

プログラム

挨拶 『地域を支える病院へ』
名古屋大学医学部附属病院 病院長
運動・形造 脳科学講座 脳神経外科 教授
石黒 聖典 教授

第一部 『ずっと元気であるためのつぼ』
名古屋大学医学部附属病院
脳卒中医療センター センター長 水野 正明 教授

第二部 CBCラジオ「つボイリョウの聞けば聞かば」
25周年記念スペシャルトーク「相続のつボイ」
弁護士 税理士 司法書士 など 専門家集合!!

主催: 予防医療・法務 有限責任事業組合 お問合せ: 中日BB 052-218-3332

セミナー参加のご応募は締め切りました

当日のセミナー(第二部)の模様は以下の方法でご覧いただけます。
CBCラジオ公式SNS(一覧から選択)
配信開始日時/10月17日(火)
http://hicbc.com/radio/

当日会場にて配布する資料を希望される方は、①住所②氏名③電話番号を明記の上、はがき、FAX、メールのいずれかの方法で下記までご請求ください。
〒460-0008 名古屋市中区栄2-11-30 セントラルビル5F
(株)中日BB「予防医療と相続」資料請求係
FAX 052-203-1307
メールでの請求はこちら▶

※個人情報は資料の送付に利用し、目的外利用や第三者提供を行いません。
※個人情報の開示、訂正、追加、削除などはご本人様の確認の上、対応いたします。